

第 64 期生 「継灯式」

5月24日(月)厳かな雰囲気の中、「第64期生 継灯式」を行いました。
2年生39名一人ひとりが、クリミアの天使とも呼ばれたフローレンス・ナイチンゲールの像から命の灯りを受け継ぎ、看護師を目指す誓いの言葉を宣誓しました。
感染対策のため規模を縮小しての実施となりましたが、ご参列いただきました保護者の皆様に感謝申し上げます。

第 64 期生 誓いの言葉

私たち64期生は、豊富な知識と確かな技術を身につけ、患者さんの立場に立って常に考え、寄り添い、個別性のある看護を提供することを誓います。そして、根拠に基づいて、安全安楽な看護を実践できるよう、共に学び合い、誰からも信頼される看護師になることを誓います。今日、ナイチンゲールから受け継いだ灯を絶やすことなく、高い志を掲げ、患者さんの心を照らし続けることを誓います。



以下に学校長式辞を掲載します。

令和三年度

新潟県立新発田病院附属看護専門学校

継灯式 学校長式辞

新潟県立新発田病院 附属看護専門学校六十
四期生三十九名の皆さん、本日は看護の心を引
き継ぐ継灯式を迎えました。おめでとうござい
ます。

ただいまは お一人お一人の力強い誓いの言
葉を聞かせていただきました。看護の道に進む
決意をしっかりと表し どれも立派で 心から嬉
しく思いました。この緊張感の中で立てた誓い
は 皆さんにとって とても価値があるものだ
と思います。これからの長い看護師人生の中
で 辛いことや迷うことがあると思います。そ
んな時に 今日の誓いの言葉を思い出してくだ
さい。誓いの言葉は 看護職を目指そうとした
純粋な初心に戻してくれるでしょう。そして前
に進む勇気を与えてくれる魔法の言葉になると
思っています。

さて、皆さんは昨年春の入学から新型コロナ
ウイルス感染症の影響を受けています。歴史的

な時期に遭遇しています。本校では入学式や継灯式などの儀式の参加者制限は初めてのことで、す。看護協会長や看護部長など先輩の祝辞や激励を受けられずたいへん残念です。このように自分の努力では超えられない辛い現実には、患者さんが病気に遭遇する時と同じです。我々も辛さを感じながら甘んじて受容しましょう。

その上で皆さんが引き継いだ灯の意味を考えてみましょう。昨年 生誕二百年を迎えたナイチンゲールは、クリミア戦争に看護師として従軍し、多くの傷病兵を不衛生な環境で看取りました。一方で、整理整頓され衛生環境が整った病棟では亡くなる方が少なかったと論文に書きました。私たちは今、ウイルスとの接触を減らすため、混雑を避け換気をし、接触を避け手指消毒するなど感染対策をしています。抗生物質などなかった時代のナイチンゲールの立場と同じです。感染対策の基本を使って、特効薬のない、新興感染症と戦おうとしているのです。

皆さんは一年を経て、新しい医療や医学、看護学を学び、目覚ましく成長しました。それに加えて、今回のような基本に立ち返る、恵まれ

た体験をしました。今後も 基本の大切さや普遍性を忘れないでください。臨地実習は 学んだ知識を現場で確認する学びの時期になります。実践では 学んだ知識や技術に十分というよりはなく、不足があり不安を感じることを学んでください。加えて 医療は不確実で 簡単に正解が見えないと知ってください。そこで チームが一丸となって 情報を収集して共有し、基本的な知識を積み重ねて判断し決断を重ね、最善の結果に導いていく作業を重ねていくこととなります。

この間 皆さんは患者さんに注目し 寄り添いながら患者さんの目となって 周囲にある困難を見つけてください。患者さんに関心を寄せながら 苦痛は何処にあるのか 家族や社会に心配や困りごとはないのか と患者さんの周りを見ると 課題が山積しているはずです。そんな困難や課題に意識を集中できれば いつしか自分の不安を気にすることはなくなっていくものですよ。私は そんな「患者さんファースト」の心は看護の基本姿勢だと思っています。

正しく適切な知識や情報を集めて、優しく思

いやりのある伝え方で、勇気をもって実践することとは、とても難しいが大切に心がけるべきことだと 中国の思想家孔子は論語の中で言っています。知識の「知」 人を思いやる「仁」 実行する力「勇」の三徳が大切と書いています。この三徳を私が思い浮かべる場面の一つが 看護師さんと患者さんの関係です。もう一つは 場面は母親が子供を諭す姿です。医師と患者の関係もそうありたいと思っていますが 知識偏重で仁が足りなく感じています。権利意識の強い患者さんの前では 特にその傾向が強くなります。情報です。そんな時こそ看護師さんの出番です。情報を伝えるだけでなく寄り添い傾聴し 決断を協働できるまで コミュニケーションを深めて欲しいと思います。そうすれば、会話のたびに患者さんとの距離は縮まり 患者さんには気づきが生まれ 気づきは生きる力に結びつきます。

そうは言っても 万事が容易にうまくいくとは限りません。必ず困難な場面に出会うと思います。

その時必要なのは 決して諦めない辛抱強さです。そして いつまでも待てる忍耐力です。さ

らに困難に立ち向かう勇氣と患者さんへの思いです。今日は皆さんの思いと姿勢を誓いの言葉として聞かせていただきました。

今日引き継いだろうそくの灯は、そのようなわれのある大切なものです。健康を害すると心は動揺し 寄り添うことを拒み 言うべき言葉を失うこともあります。看護の心を引き継いだ皆さんは そんな患者さんに寄り添い 形に表れていない患者さんの心の傷を癒すことを心がけてください。患者さんが自分を取り戻し、自分の言うべきことに気がつくように心配りをしてください。そんな働きかけに やがて患者さんは 人への信頼を取り戻し、警戒心や恐怖心から解き放たれ、傍に寄り添った皆さんの存在に感謝するでしょう。そんな心震える経験を夢に見て実習に出てください。

人への気遣いは大切ですが 自分へのいたわりも忘れないでください。時には自分に関心に向け 完璧でない自分をいとおしむ時間も大切です。

今日は 今ある自分を振り返り、これまで有形無形にご支援をいただきました ご両親様

ご家族様 関係者の皆様には感謝の念を持つ機会にしてください。謙虚に感謝する姿勢は 必ず患者さんに通じる力を増すと私は信じています。終わりに 本日ここに集まった皆様のご健康とご多幸を祈念し、学校長式辞といたします。

令和三年五月二十四日

新潟県立新発田病院附属看護専門学校長

塚田芳久